

全木連ホルムアルデヒド放散等級表示登録申請書作成マニュアル

・・・改訂版・・・

平成15年10月改正

一般社団法人 全国木材組合連合会

(ホルムアルデヒド表示登録事務機関)

木構造振興株式会社

(注：平成15年10月申請から適用)

主な改正点：作成方法の簡素化・明確化
・ 原材料基準の記入方法
・ 接着材種区分等

(様式1)

捨印

全木連ホルムアルデヒド放散等級表示登録申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

一般社団法人全国木材組合連合会

会長 〇〇 〇〇 殿

(フリガナ)

申請者の氏名 〇〇株式会社 代表取締役〇〇〇〇印

(名称及び代表者の職名・氏名)

(フリガナ)

申請者の所在地 〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇00-00

電話番号 0000-00-0000 F A X 番号 0000-00-0000

全木連ホルムアルデヒド放散等級表示登録規程第5条の規定に基づき、下記の製品について登録を受けたいので、別紙書類を添えて申請します。この申請書及び添付書類に記載の事項は事実と相違ありません。

なお、申請に当たっては、同規程第8条第1項の規定による表示から生じる一切の責任を負うとともに、同規程の定めにも同意したものであることを申し添えます。

記

製品名等 別表による。

(フリガナ) (自社工場の場合には、社名は不要です。)

工場の名称及び所在地 〇〇工場 (工場の名称がない場合には、「同社工場」と記入して下さい。)

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇00-00

連絡担当者	氏名	(フリガナ) 〇〇〇〇
	所属・職名	(フリガナ) 〇部〇〇課〇〇課長
	連絡先所在地	(フリガナ) 〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇00-00
	電話番号	(0000)00-0000
	F A X 番号	(0000)00-0000
	E - m a i l	〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

別表 製品名等 (記入例)

No.	製品名	放散等級区分	基材名	接着材名	化粧材名	塗料名	表示方法	製品の形状 (mm)		
								厚さ	幅	長さ
1	3層パネル (Jパネル)	F☆☆☆☆	ひき板	水性ビニルウレタン			梱包	36	910~1000	1820~2000
2	塗装造作用集成材	F☆☆☆☆	造作用集成材			ポリウレタン	梱包	20~70	100~1200	200~6000
3	塗装造作用集成材	F☆☆☆☆	化粧ばり造作用集成材			ポリウレタン	梱包	15~40	83~134	147~3600
4	廻縁	F☆☆☆☆	たて継ぎ材	酢ビ系エマルジョン	天然木ツキ板		各枚・梱包	30~54	30~54	2800~5950
5	長押	F☆☆☆☆	合板・たて継ぎ材	酢ビ系エマルジョン	天然木ツキ板		各枚・梱包	90~120	33~38	1800~5950
6	框	F☆☆☆☆	集成材・合板	酢ビ系エマルジョン	天然木ツキ板・ムク板		各枚	145~180	95~150	1950~4950
7	棚板	F☆☆☆☆	ムク板・合板	酢ビ系エマルジョン 水性ビニルウレタン	天然木ツキ板		各枚・梱包	20~50	150~450	900~3950
8	キッチンカウンター	F☆☆☆☆	造作用集成材				各枚	10~60	30~400	1500~4500

注：塗料名欄は、「塗装造作用集成材」及び「塗装構造用集成材」についてのみ記入して下さい。

*別表「製品名等」の記載方法

1 製品名について

製品名は、放散等級別、基材別（複数の基材を複合する場合には、複合したものを単位とします。）、接着剤別、化粧材別となります。（登録番号は製品名ごととなります。）。

2 基材名について

基材は、基材名を記入して下さい。また、同一製品で複数の基材を複合する場合には、複数の基材名を記入して下さい（たとえば、MDFと合板を複合する場合には、「MDF・合板」と記入して下さい。）。

3 接着剤名について

（1）対象となる接着剤について

日本接着剤工業会の自主表示登録を受けた接着剤又は国土交通大臣認定を受けた接着剤若しくはJISの接着剤に限ります。

（2）接着剤名について

接着剤名は、次の表によって接着剤の種類（「接着剤種」といいます。）により、その「略称」を記入して下さい。

なお、接着剤種の区分が分からない場合には、接着剤購入店にお尋ねの上、記入して下さい。

略 称	接 着 剤 種	記号	主 成 分 内 容
酢ビ系エマルジョン	酢酸ビニル樹脂系エマルジョン形 (水性系接着剤)	W 1	酢酸ビニル樹脂を主成分としたエマルジョン形のもの
ビニル共重合樹脂	ビニル共重合樹脂系エマルジョン形 (水性系接着剤)	W 2	アクリル・酢酸ビニル共重合樹脂、エチレン・酢酸ビニル共重合樹脂を主成分としたエマルジョン形のもの
アクリル樹脂	アクリル樹脂系エマルジョン形 (水性系接着剤)	W 3	アクリル樹脂又はその共重合物を主成分としたエマルジョン形のもの
ゴム系ラテックス	ゴム系ラテックス形 (水性系接着剤)	W 4	天然ゴム又は合成ゴムを主成分としたエマルジョン形のもの
水性ビニルウレタン	水性高分子－イソシアネート系 (水性系接着剤)	W 6	高分子の水溶液若しくは水性分散体又はそれらを組み合わせたものを主成分とする主剤と、イソシアネート系化合物を主成分とする架橋剤からなるもの
α－オレフィン	α－オレフィン樹脂形 (水性系接着剤)	W 7	α－オレフィン樹脂を主成分としたもの
エポキシ系	エポキシ樹脂系 (反応形接着剤)	R 1	エポキシ樹脂を主成分とした主剤と、ポリアミン類を主成分とした硬化剤との二液反応形のもの
ウレタン系	ウレタン樹脂系 (反応形接着剤)	R 2	ウレタン樹脂を主成分としたもの

略 称	接 着 剤 種	記号	主 成 分 内 容
シリル化ウレタン	シリル化ウレタン樹脂系 (反応形接着剤)	R 4	シリル化ウレタン樹脂を主成分としたもの
ホットメルト	ホットメルト形 (ホットメルト形接着剤)	H 1	加熱可塑性樹脂を主成分としたもの
酢ビ系溶剤形	酢酸ビニル樹脂系溶剤形 (溶剤形接着剤)	S 1	酢酸樹脂を主成分とした溶剤形のもの
ゴム系溶剤形	ゴム系溶剤形 (溶剤形接着剤)	S 2	天然ゴム又は合成ゴムを主成分とした溶剤形のもの

4 化粧材名について

化粧材別に、次により記入して下さい。

①天然木ツキ板

JAS規格では、「天然木化粧単板」ですが、「天然木ツキ板」と記入して下さい。

②人工ツキ板

人工ツキ板（人工塗、集成ツキ板（集成単板）を含む。）と記入して下さい。

この場合、人工ツキ板の表面を塗装した製品であることが必要です。ただし、非ホルムアルデヒド系接着剤を使用して製造した人工ツキ板にあっては、表面塗装の制約はありませんが、人工ツキ板の製造に使用した接着剤の製品安全データシート（以下「MSDS」といいます。）を添付して下さい。

③化粧紙

化粧紙名を記入して下さい。

④化粧印刷紙等

化粧印刷紙等の「名称」を記入して下さい。

5 塗料名について

塗料の種類を『略称』で記入して下さい。

たとえば、「二液性アクリルウレタン樹脂塗料」は、「アクリルウレタン」記入して下さい。また、「二液性ポリウレタン樹脂塗料」は、「ポリウレタン」と記入して下さい。

6 表示方法について

登録製品に、「表示マーク」を表示する箇所を、次により記入して下さい。

①1枚又は1本ごとに表示する場合には、「各枚」と記入して下さい。

②梱包に表示する場合には、「梱包」と表示して下さい。

③1枚又は1本ごとに表示するほか、梱包にも表示する場合には、「各枚・梱包」と記入して下さい。

7 製品の形状について

厚さ、幅及び長さを○○mm～○○mmと、寸法の最小と最大を範囲で記入して下さい。

*この契約書は、規定第5条の規定による適用製品を契約により自社以外の工場に製造させる場合（通称「OEM」）に添付して下さい。（契約書の写しを添付して下さい。）

（契約書の例）

業 務 委 託 契 約 書

〇〇株式会社代表取締役〇〇〇〇（以下「甲」という。）と〇〇株式会社代表取締役〇〇〇〇（以下「乙」という。）は、次のとおり委託契約を締結する。

（業務委託）

第1条 甲は、製造・販売を計画している別表の製品を全木連ホルムアルデヒド放散等級表示制度に基づき、一般社団法人全国木材組合連合会に対し登録申請を行う。

2 甲は、乙に本製品について登録後の製造業務を委託し、乙はこれを受託した。

3 乙は、甲から受託した業務の遂行に関し、当該製品の製造基準を遵守する。

（委託契約）

第2条 業委託に要する経費は、甲乙協議の上、別途定める。

（報告）

第3条 乙は、甲に対し、定期的に又は甲の指示により、乙の業務の進捗状況等について報告する。

（責任の帰属）

第4条 乙の製造に係る当該製品に、第1条第3項の規定による基準を満たさない製品があった場合には、乙の責任に帰するものとする。

（疑義の解決）

第5条 前各条のほか、この契約に関して疑義が生じた場合には、甲乙協議の上解決するものとする。

本契約の証として本証2通を作成し、甲乙記名捺印の上各1通を保有するものとする。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

（甲） 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇 印

（乙） 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇 印

*この契約書は、登録製品の製造に関し、加工業務の一部を委託により行う場合に添付して下さい。
(契約書の写しを添付して下さい。)

(契約書の例)

業 務 委 託 契 約 書

〇〇株式会社代表取締役〇〇〇〇（以下「甲」という。）と〇〇株式会社代表取締役〇〇〇〇（以下「乙」という。）は、次のとおり委託契約を締結する。

(業務委託)

第1条 甲は、製造・販売を計画している別表の製品を全木連ホルムアルデヒド放散等級表示制度に基づき、一般社団法人全国木材組合連合会に対し登録申請を行う。

2 甲は、乙に本製品について登録後の製造業務のうち、〇〇〇〇加工に関する業務を委託し、乙はこれを受託した。

3 乙は、甲から受託した業務の遂行に関し、当該製品の製造基準を遵守する。

(委託契約)

第2条 業委託に要する経費は、甲乙協議の上、別途定める。

(報告)

第3条 乙は、甲に対し、定期的に又は甲の指示により、乙の業務の進捗状況等について報告する。

(責任の帰属)

第4条 乙の製造に係る当該製品に、第1条第3項の規定による基準を満たさない製品があった場合には、乙の責任に帰するものとする。

(疑義の解決)

第5条 前各条のほか、この契約に関して疑義が生じた場合には、甲乙協議の上解決するものとする。

本契約の証として本証2通を作成し、甲乙記名捺印の上各1通を保有するものとする。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

(甲) 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇 印

(乙) 〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇 印

目 次

(ページ)

1	申請者の業務の概要	-----	1
1. 1	創立年月	-----	○
1. 2	資本金	-----	○
1. 3	主要生産品目及び年間生産量	-----	○
2	当該工場の概要	-----	○
2. 1	工場設立年月	-----	○
2. 2	登録申請品の年間生産量	-----	○
2. 3	工場機構図	-----	○
3	製造基準	-----	○
3. 1	製造工程図	-----	○
3. 2	原材料基準	-----	○
3. 3	製品基準（製品規格）	-----	○
3. 4	製品の構成図	-----	○
4	基準を満たすことを証する書面	-----	○
5	その他参考となる資料（製品カタログ等）	-----	○

1 申請者の業務の概要

1. 1 創立年月（法人設立年月） 注：会社の沿革を記入して下さい。

昭和□□年□月 □□□□□□□□を設立

昭和□□年□月 □□□□□□□□を□□□□□□とする。

1. 2 資本金 注：払込資本を記入して下さい。

□□□□□千円 (協同組合等にあつては、出資金)

1. 3 主要生産品目及び年間生産量（令和□□年□□月～令和□□年□□月）

集成材 □□□m²又は m³

3層パネル □□□m²又は m³

2 当該工場の概要 注：規定第5条の規定による適用製品を自社以外の工場に製造させる場合には、その工場について記入して下さい。
(以下、各項目において同じ。)

2. 1 工場設立年月日

昭和□□年□□月□□日

2. 2 登録申請品の年間生産量

(1) 実績量（令和□□年□□月～令和□□年□□月） 注：申請前1年間の実績量を記入して下さい。

□□□□□□ □□□m²又は m³

□□□□□□ □□□m²又は m³

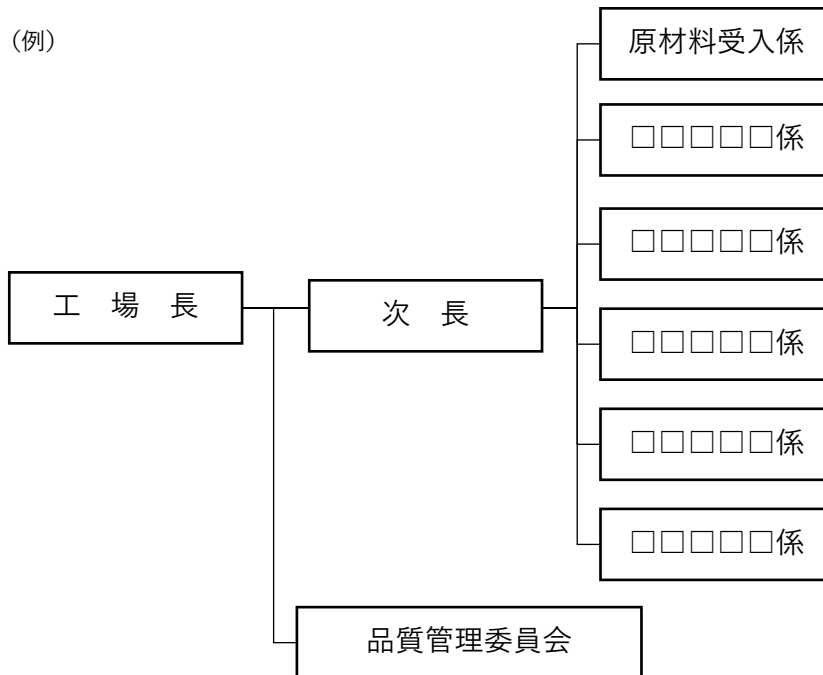
(2) 予定量（令和□□年□□月～令和□□年□□月） 注：登録後1年間の予定量を記入して下さい。

□□□□□□ □□□m²又は m³

□□□□□□ □□□m²又は m³

2. 3 工場機構図

(例)



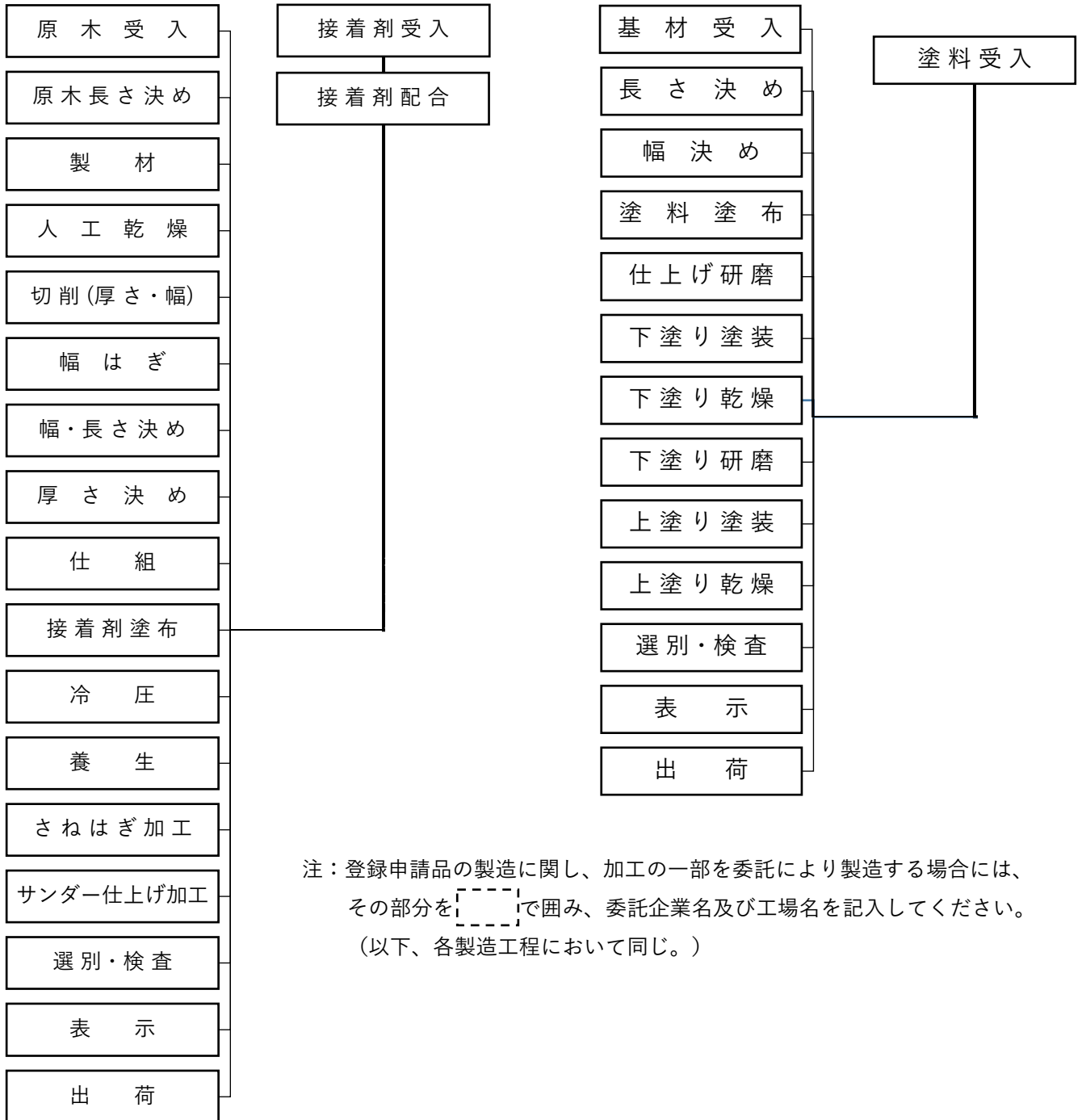
3 製造基準

3. 1 製造工程図

注：実態に即して記載して下さい。

(3層パネルの例)

(集成材に二次加工を施した製品の例)



注：登録申請品の製造に関し、加工の一部を委託により製造する場合には、その部分を「---」で囲み、委託企業名及び工場名を記入してください。(以下、各製造工程において同じ。)

3. 2 原材料基準 原材料の基準を満たすことを証する書面は、4による。

3. 2. 1 基材

注：①基材名、②基材の製造企業名及び製造工場名、③国土交通大臣認定基材の場合には、当該基材の認定を受けた企業名、④基材の放散等級を記入して下さい。（(1)を除きます。）

(1) ひき板

注：「(1)のひき板」は、対象製品が3層パネル等に関り記入して下さい。（基材がJAS規格に適合するものについては、品質基準等の記入は不要です。）

① 樹種

スギ、ヒノキ

② 品質基準

項目	基準
腐れ	ないこと。
割れ	極めて軽微であること。
変色	軽微であること
そり、曲がり	極めて軽微であること。
ねじれ	極めて軽微であること。
その他の欠点	顕著でないこと。

(2) 集成材

放散等級区分	製造企業名	工場名	備考
F☆☆☆☆ F☆☆☆	〇〇株式会社	〇〇工場	
F☆☆☆☆ F☆☆☆	〇〇株式会社		国土交通大臣認定

(3) フローリング

放散等級区分	製造企業名	工場名	備考
F☆☆☆☆ F☆☆☆	〇〇株式会社	〇〇工場	

(4) 単板積層材

放散等級区分	製造企業名	工場名	備考
F☆☆☆☆ F☆☆☆	〇〇株式会社	〇〇工場	

3. 2. 2 化粧材

- (1) 天然木ツキ板
- (2) ムク板
スギ、ヒノキ

3. 2. 3 接着剤

製造企業名	化学名（一般名）	製品名（商品名）	備考
〇〇株式会社	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	主剤
	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	硬化剤
〇〇株式会社	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	主剤
	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	架橋剤

- 注：1 備考欄に、主剤、硬化剤、架橋剤の別を記載して下さい。
2 接着剤のMSDSを添付して下さい。

3. 2. 4 塗料

製造企業名	種類	製品名（商品名）
〇〇株式会社	ウレタン樹脂系塗料	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	ウレタン樹脂塗料硬化剤	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	エポキシ樹脂塗料	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	エポキシ樹脂塗料硬化剤	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇株式会社	アクリル樹脂系塗料	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	アクリル樹脂系塗料硬化剤	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

- 注：1 塗料のMSDSを添付して下さい。
2 本表は、「塗装造作用集成材」及び「塗装構造用集成材」についてのみ記入して下さい。

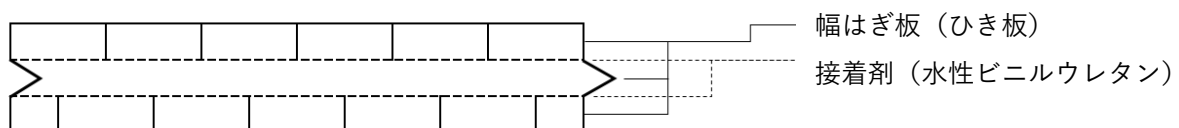
3. 3 製品基準（製品規格）

申請書の「別表」に同じ。

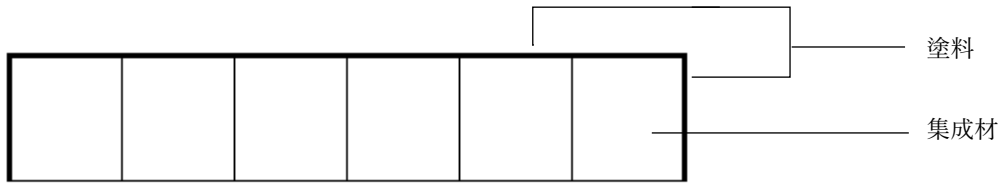
3. 4 製品の構成図

注：製品を構成する基材、化粧材等のほか接着剤、塗料について、その仕組みを図示して下さい。

(3層パネルの例)



(集成材に二次加工を施した製品の例)



4 基準を満たすことを証する書面 (別添のとおり)

4. 1 基材 注：該当するものについて記入して下さい。

4. 1. 1 日本農林規格 (JAS) 認定証写し及びホルムアルデヒド放散量試験成績書写し

4. 1. 2 国土交通大臣認定書写し及びホルムアルデヒド放散最試験成績書写し

注：認定書の記の3の「認定をした建築材料の内容」の別添は、認定書の一部ですので、必ず添付して下さい。(添付されていない場合には、審査の対象になりませんのでご注意ください。)

4. 2 化粧材

化粧材のMSDS等

4. 3 接着剤

接着剤のMSDS等

注：接着剤の「基準を満たすことを証する書面」は、次のとおりです。

① 日本接着剤工業会の自主表示登録を受けた接着剤を使用する場合

同工業会の番号等 (JAIA○○○○○○及びF☆☆☆☆等) の記載されたMSDSを添付して下さい。

② 国土交通大臣認定の接着剤を使用する場合

大臣認定書及び第三者機関のデータ (性能評価機関の性能評価書のデータで可) の写しを添付して下さい。

ただし、大臣認定書については、大臣認定に係る認定番号及びF☆☆☆☆の記載されたMSDSで可とします。

③ JISの接着剤を使用する場合

JISE工場表示許可書 (表示認定書) の写し及びJIS番号及び放散等級 (F☆☆☆☆に限る。) の明らかな資料を添付して下さい。

ただし、上記事項の記載されたMSDSで可とします。

4. 4 塗料

塗料のMSDS

注：本表は、「塗装造作用集成材」及び「塗装構造用集成材」についてのみ記入して下さい。

5 その他登録に当たって参考となる資料 (製品カタログ等)

注：適宜添付して下さい。(申請書ファイル末尾にとじ込んで下さい。)

(基準を満たすことを証する書面の表紙)

基準を満たすことを証する書面

基 材

(基準を満たすことを証する書面の表紙)

基準を満たすことを証する書面

化 粧 材

(基準を満たすことを証する書面の表紙)

基準を満たすことを証する書面

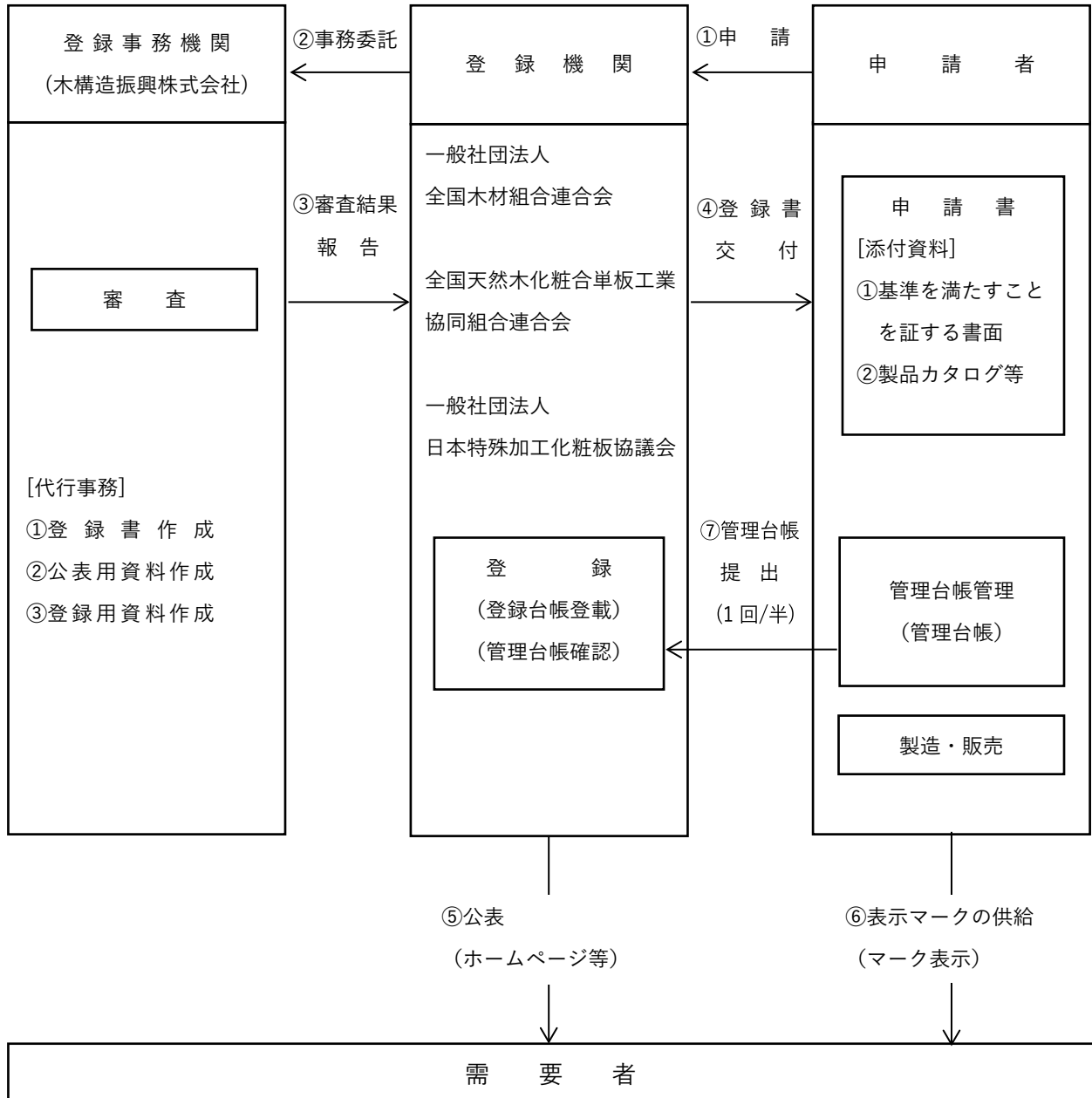
化 粧 材
(隠 ぺ い 剤)

(基準を満たすことを証する書面の表紙)

基準を満たすことを証する書面

塗 料

ホルムアルデヒド放散等級表示登録制度に関するフローチャート



注： ⑦の管理台帳の提出は、全天連及び（一社）日本特殊加工化粧板協議会ホルムアルデヒド放散等級表示登録規程第9条第3項の規定に基づき、提出するものです。

対象となる製品は、同規程第3条の（1）に該当する製品のうち、合板を基材とするもの又はこれらを用いた同条（3）に該当する製品です。